

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 21 日 (2006.9.21)

【公開番号】特開 2005-58367 (P2005-58367A)

【公開日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-010

【出願番号】特願 2003-290725 (P2003-290725)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 8 日 (2006.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技装置の動作に際して補助演出音又は補助演出光を出力する駆動手段と、その駆動手段を制御する制御手段とを備え、制御手段の制御により、少なくとも 2 種類の補助演出音又は補助演出光を個別に又は同時に出力する遊技機において、

前記制御手段は、補助演出音又は補助演出光を同時出力させる際に、所定の補助演出音又は補助演出光の出力が相対的に低くなるように前記駆動手段の出力を調整するものとした遊技機。

【請求項 2】

前記補助演出音又は補助演出光を、遊技装置が動作している間を通じて出力される第 1 演出音又は第 1 演出光と、その第 1 演出音又は第 1 演出光の出力中に生じた遊技状況の変化に合わせて単発的に出力される第 2 演出音又は第 2 演出光とで構成し、第 1 演出音又は第 1 演出光の出力を低くするようにした請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技装置の動作に際して補助演出音又は補助演出光を出力する駆動手段と、

補助演出音データ又は補助演出光データを記憶する記憶手段と、

記憶手段から補助演出音データ又は補助演出光データを読み出し、そのデータに基づく補助演出音又は補助演出光を駆動手段に出力させる制御手段とを備え、

補助演出音データ又は補助演出光データはそれぞれ少なくとも 2 種類のデータを有し、制御手段の制御により、各補助演出音データ又は補助演出光データに基づく補助演出音又は補助演出光を個別に又は重複して出力する遊技機において、

前記制御手段は、前記駆動手段の出力調整機能を有すると共に、所定の補助演出音データ又は補助演出光データに基づく補助演出音又は補助演出光の出力中に、他のデータに基づく補助演出音又は補助演出光を重複して出力させる際に、前記所定のデータに基づく補助演出音又は補助演出光の出力が他のデータに基づく補助演出音又は補助演出光のそれよりも低くなるように駆動手段の出力を調整するものとした遊技機。

【請求項 4】

前記補助演出音データ又は補助演出光データを、遊技装置が動作している間を通じて出力される第 1 演出音又は第 1 演出光に対応したデータと、その第 1 演出音又は第 1 演出光の出力中に生じた遊技状況の変化に合わせて単発的に出力される第 2 演出音又は第 2 演出光

に対応したデータとで構成し、第 1 演出音又は第 1 演出光の出力を低くするようにした請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

遊技装置の動作に際して補助演出音を出力するスピーカと、そのスピーカを制御する制御手段とを備え、補助演出音として、遊技装置が動作している間を通じて出力される楽音と、楽音の出力中に生じた遊技状況の変化を受け、楽音に重複して単発的に出力される可聴音とを有する遊技機において、

前記制御手段は、前記楽音の出力中に前記可聴音を重複して出力させる際、楽音の音量が相対的に低くなるようにスピーカの出力を調整するものとした遊技機。

【請求項 6】

遊技装置の動作に際して補助演出音を出力するスピーカと、

補助演出音としての、遊技装置が動作している間を通じて出力される楽音と、楽音の出力中に生じた遊技状況の変化を受け、楽音に重複して単発的に出力される可聴音とにそれぞれ対応する楽音データ及び可聴音データを記憶する記憶手段と、

記憶手段から楽音データ又は可聴音データを読み出し、楽音又は音をスピーカに出力させる制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記スピーカの出力調整機能を有すると共に、前記楽音の出力中に前記可聴音を重複して出力させる際、楽音の音量が可聴音のそれよりも低くなるようにスピーカの出力を調整するものとした遊技機。